



平成 29 年 3 月 8 日

解禁日時：平成 29 年 3 月 14 日 13 時

プレスリリース

**「マンホールカード」 1周年を迎えてますます充実  
4/3 に第四弾 50 種類を配布開始、累計 170 種類に  
英語版のカードも登場、年内・累計 100 万枚の発行めざす**

下水道広報プラットフォーム（GKP）が企画・監修するマンホール蓋のコレクションアイテム「マンホールカード」は、平成 29 年 4 月で 1 周年を迎えます。GKP は同月（4 月 3 日）、第四弾 42 自治体 50 種類の配布を開始し、累計発行数は 170 種類（145 自治体）約 60 万枚となります。本カードへの関心が高まる中、茨城県つくば市では、海外からのお客様向けに“英語版”の配布を開始。一方で全集の出版計画も進行中で、カードの楽しさはますます拡大します。GKP は 8 月をメドに 200 種類の発行と、年内に累計 100 万枚の発行をめざします。

マンホールカードは、平成 29 年 4 月で 1 周年を迎えます。その記念すべき同月（4 月 3 日）に配布を開始する第四弾は、42 自治体 50 種類で、既発行のカードと合わせると、その数は 145 自治体 170 種類、累計発行数約 60 万枚となります。

マンホールカードは原則一人一枚、決められた場所で無料配布していますが、窓口に来られる方の「約 6 割」は県外から訪れていることが配布実績により明らかになりました。また、コレクターの中には、カードの収集と併せて名所巡りやご当地グルメなどを楽しまれる方が多く、観光活性化の面でも少なからず効果が出ていると分析されます。そうした中、第二弾から参画中の茨城県つくば市は、従来のカードを英訳した「英語版」を製作。4 月 1 日より、従来型の配布と併せ、海外のお客様向けの PR に活用する方針です。こうした多言語化は今後、他の自治体のカードにも展開することとしています。

一方、「マンホールカード大全集（仮）」の発行プロジェクトも現在進行中で、「ダムカード大全集」で実績のある(株)スモールライト（東京都中野区）が企画を進めています。

マンホールカードはシリーズ開始以来、着実にファン層を拡大しており、地元のカード発行に対する要望が強いことから、現在、約 300 の自治体が新規発行に向けて検討・準備を行っています。第五弾は 8 月の発行を予定。これによって累計 200 種類の達成を見込むほか、12 月には第六弾を発行し、年内に累計発行数 100 万枚の達成をめざします。

（注）下水道広報プラットフォーム（GKP）は、「下水道のプレゼンス向上」をめざして国や地方公共団体、下水道関連団体、民間企業等で構成する組織で、業界・分野の垣根を超えて様々な団体や人と交流・連携し、下水道の価値を伝える活動を展開しています。マンホールカードは、G K P のプロジェクトチーム「マンホール・エンジョイ・プロモーション」（マエプロ）が中心となって開発しました。マンホールカードの詳細は添付資料をご参照ください。

また、カードの配布場所は GKP の HP (<http://www.gk-p.jp/>) でお知らせします。

取材のお申込み、本件に関するお問い合わせ  
GKP マンホール・エンジョイ・プロモーション 山田  
〒107-0052 東京都港区赤坂 3-10-6  
電話 03-3585-2177 e-mail: h-yamada@hinosudesuido.co.jp